

契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	「道の駅」の公益的機能に関する検討業務
業 務 概 要	本業務は、「道の駅」が果たすべき公益的機能の観点から、「道の駅」の休憩機能・情報発信機能・防災機能に着目して、現状を把握し、改善すべき課題、今後「道の駅」に求められる役割について整理を行い、それらを踏まえて「道の駅」において道路管理者が整備・管理を行う休憩機能、情報発信機能、防災機能のあり方、「道の駅」における効率的な情報収集・情報発信について検討を行うことにより、既存の「道の駅」の改善、新規の「道の駅」の計画に反映させるものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 森北 佳昭 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成25年 1月30日
契 約 業 者 名	財団法人国土技術研究センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区虎ノ門3-12-1
契 約 金 額	¥9,985,500円(税込み)
予 定 価 格	¥9,985,500円(税込み)
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、「道の駅」が果たすべき公益的機能の観点から、「道の駅」の休憩機能・情報発信機能・防災機能に着目して、現状を把握し、改善すべき課題、今後「道の駅」に求められる役割について整理を行い、それらを踏まえて「道の駅」において道路管理者が整備・管理を行う休憩機能、情報発信機能、防災機能のあり方、「道の駅」における効率的な情報収集・情報発信について検討を行うことにより、既存の「道の駅」の改善、新規の「道の駅」の計画に反映させるものである。</p> <p>本業務を遂行するに当たっては、高度な技術力や知識、豊富な経験が必要とすることから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式により、請負業者の選定を行った。</p> <p>財団法人国土技術研究センターは、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。</p>
業 務 場 所	国土交通省関東地方整備局道路部交通対策課
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	平成25年 1月31日
履 行 期 間 (至)	平成25年 3月29日
備 考	<p>適用法令 会計法第29条の3第4項 予算決算及び会計令第102条の4第3号 入札情報サービス (PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、 契約経過に関する情報を閲覧可能である。</p>

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。